

えどがわ

区議会

だより

令和6年第1回定例会号

発行

江戸川区議会

<https://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>

SUSTAINABLE

DEVELOPMENT

GOALS

江戸川区議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

令和6年度 予算を可決

～お金の使いみちが決まりました～

予算特別委員会の様子

9月～10月
第3回定例会《決算特別委員会》
前年度の予算が適切かつ効率的に使われたのか
詳細にわたり審査

4月予算執行
区が予算を使って
事業を実施

当初予算が成立
(概要は
1ページ下段へ)

2月～3月
第1回定例会《予算特別委員会》
新年度に必要な1年間の予算、お金の使いみち
を審査(予算特別委員会については5ページへ)

予算・決算のサイクル

次予算に
反映するよう、
議会から区に
要望を提言！

予算編成
提言等を踏まえて
区が新年度の予算
案を作成

今回の予算編成の
ポイントについては
8ページへ

／今回はここ！！／
提言を反映した予算に
なっているかチェック！

令和6年第1回定例会は2月15日から3月25日までの40日間の会期で開かれました。
■13人の議員が区政の課題について、区長に質問を行いました。
■区長から議案45件、報告3件、同意2件が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。
■議員が提出した議案1件は原案のとおり可決され、意見書は各関係機関に送付しました。
■この定例会の会議録は、7月頃にできあがります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。

ここが知りたい！予算について

Q そもそも予算ってなに？

A 予算とは、区の仕事に必要な1年間の収入と支出の見積もりです。区長が調整した予算案を、区民の代表である議員で構成される区議会に提出し、議会の審査を経て可決されると予算が成立します。

Q 予算特別委員会とは？

A 予算審査のために本会議で議決され設置される特別委員会です。新年度が始まる前の第1回定例会の本会議で設置されます。

Q 一度決めた予算は変えられる？

A 区長から補正予算案(変更する予算案)が提出された場合に、議会が可決することで予算の追加や変更を行うことができます。

予算特別委員会委員 (◎委員長○副委員長)		
◎ 須賀 精二	小林あすか	金井しげる
○ 佐々木ゆういち	本西みつえ	間宮 由美
中野ヘンリ	伊藤ひとみ	岩田まさかず
田村ひろし	川合さなこ	堀江そういち
林 あきこ	田島 寛之	小俣のり子
丸山れいこ	しかくら勇	笹本ひさし
金井 高志	大橋美枝子	関根まみ子
太田あやか	滝沢やすこ	伊藤てる子
牧野けんじ	神尾てるあき	中道たかし
きもと麻由	ます 秀行	島村 和成
委員定数 20 人 (委員の途中交代あり)		

令和6年度当初予算の概要

区 分	6 年 度	5 年 度	増減率
一 般 会 計	3,263億3,607万6千円	2,912億7,363万6千円	12.0%
国民健康保険事業特別会計	613億4,957万6千円	620億4,386万1千円	△1.1%
介護保険事業特別会計	512億3,048万3千円	504億2,842万円	1.6%
後期高齢者医療特別会計	165億5,472万5千円	157億2,285万円	5.3%
合 計	4,554億7,086万円	4,194億6,876万7千円	8.6%

歳入 3,263億円

特別区交付金 1,054億円 32.3%

国庫支出金 715億円 21.9%

特別区税 621億円 19.0%

都支出金 280億円 8.6%

繰入金 189億円 5.8%

地方消費税交付金 160億円 4.9%

その他 244億円 7.5%

一般会計予算の内訳

歳出 3,263億円

福祉費 816億円 25.0%

子ども家庭費 692億円 21.2%

教育費 463億円 14.2%

健康費 254億円 7.8%

環境費 199億円 6.1%

都市開発費 198億円 6.1%

土木費 131億円 4.0%

文化・共育費 111億円 3.4%

議会費 9億円 0.3%

その他 390億円 11.9%

区政への質問

2月20日に代表質問、21日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

QRコードから各質問者の質問映像をご覧になれます。

代表質問

能登半島地震の課題を踏まえた災害対策の見直しを。

自由民主党
高木 ひでたか



問 物価や賃金が上昇基調となる新たな社会経済において、予算編成に込めた区長の思いを。

答 時代に合わせ見直しを行いながらレールを敷き、次の時代にバトンを繋げていきたい。

問 今後、更なる税源偏在是正の可能性と、財政運営への影響について、区長の所見を。

答 不合理な偏在是正措置の拡大が今後も想定される。法人住民税の国税化の拡大は最大で320億円減収となり危機的状況を懸念する。

問 高齢化に伴う社会保障費増や公共施設の政策経費高騰の中、健全財政の維持について。

答 健全財政を堅持しながら行動し、策定したアクションプランを実践したい。

問 能登半島地震を踏まえた本区の災害対策について。

- ①2000年以前の新耐震基準の木造住宅における建物耐震化について今後の施策展開は。
- ②避難所の備蓄物資の拡充等、更なる対策を。
- ③災害関連死ゼロを目指し、医療的見地から災害関連死を無くす取り組みについて。
- ④被災地への物資支援に伴う備蓄物資を早急に補充出来る仕組みについて、区長の所見を。
- ⑤防災井戸等の防災インフラを区民へ知らせるため防災マップ作成等更なる取り組みを。



防災マップの作成について

- 答**
- ①工事助成額の増額、耐震相談会の拡充、個別訪問の実施等で耐震化を促進したい。
 - ②高齢者や女性等の避難所開設訓練での意見を聞きながら、避難所機能の強化を図りたい。
 - ③都や医師会等との連携を平時から強化し、限られた医療資源を有効活用できるよう備えたい。
 - ④議会と調整のうえ仕組みについて検討する。
 - ⑤災害時に必要な情報を盛り込み更に使いやすくする。区防災アプリへの反映も検討する。

問 図書館基本計画に関わる今後の図書館サービスの在り方と進むべき方向性について。

答 「みんなが」使える、「楽しく」過ごせる、「便利に」利用できる、「繋がる」地域コミュニティ、「頼りになる」の5要素を含む図書館を目指す。

問 設置準備が進む国際交流センターの今後の展開における課題認識と具体的な事業展開は。

答 多文化共生のまちづくりが課題である。タワーホール船堀の一室を改装し秋頃開設する。

問 総合レクリエーション公園等におけるリニューアル事業の進捗状況とスケートボードパーク整備について。

答 意見募集での意見を踏まえ詳細設計を進め

ている。スケートボードパーク整備については関係機関と調整し代替地も含め検討する。

問 サッカー環境の整備について。

①天然芝が剥がれた部分はハイブリッド芝に変更する等工夫をして早急な改善を。

②ナイター整備の整った人工芝のサッカーグラウンド整備について、区長の所見を。

答 ①損傷部分は指定管理者と連携し改善する。敷設する芝は研究し技術開発等参考にする。

②公共施設再編・整備計画の方針に基づきながら、創出できる土地があれば検討したい。

本庁舎跡地活用、災害対策子ども計画策定を万全に!!

公明党
関根 まみ子



問 100年先を見据えた財政運営について。

- ①令和6年度予算の重点施策について。
 - ②今後の本区独自の子育て支援について。
 - ③物価高騰における区民や事業者への支援は。
 - ④財政の持続可能性について、区長の所見を。
- 答**
- ①共生社会ビジョンの5つの施策を掲げた。
 - ②切れ目のない施策を体系的に進めていく。
 - ③物価動向の影響を見極め適切に対応したい。
 - ④ビジョンとアクションプランを実践したい。

問 新庁舎建設延期の理由と整備への影響は。本庁舎跡地の活用と移転時期への影響について。

答 働き方改革による人件費等の上昇が要因である。コスト削減に努めるが、整備内容に影響はない。小松川警察署の移転先として、施設複合化、速やかな整備を警視庁に要望している。

問 本区の災害対策について。

- ①災害時防災用カメラ及び自営通信網システム構築事業の意義について、区長の思いは。
- ②感震ブレーカー配布事業の期間延長の意義と今後の普及促進について。
- ③大規模水害時での広域避難行動について。
- ④ポンプ所の耐水化について都に訴えるべき。
- ⑤避難所運営の在り方について。

- 1)女性の視点を活かした避難所運営について。
- 2)女性の視点による必要な備蓄物資の拡充を。

答

- ①被害状況を迅速に把握でき、避難所を孤立させない。本事業で災害対応力を高めたい。
- ②初期消火率を向上させ出火件数を減らしたい。
- ③17通りの情報発信手段を最大限に活用する。
- ④あらゆる機会を捉え都に強く要請していく。
- ⑤1)開設訓練等で女性視点を大切にしたい。
- 2)防犯品備蓄や避難所レイアウト等検討する。

問 (仮称)江戸川区子ども計画策定について。

- ①どのような思いで策定していくのか。
- ②策定に向けた体制とスケジュールについて。
- ③子ども・若者の意見を丁寧に聴くプロセスを。



(仮称)江戸川区子ども計画の策定について

- 答**
- ①区の明るい未来に繋げる計画にしたい。
 - ②全庁横断的に検討し、早期完成を目指したい。

③国のガイドラインを参考に手法を検討する。

問 国が推進する1か月児健診と産婦健診、5歳児健診について本区も早期に実施すべき。

答 特別区全体の課長会の状況や医師会の先生の意見等を参考にして検討を進めたい。

問 生活保護業務不適切事案に真摯に向き合い、再発防止対策に取り組む区長の決意を。

答 できることから着手する。失われた信頼を取り戻すために区を挙げて全力で取り組む。

問 区立小中学校における新たな施策について教育委員会としてどのように取り組むのか。

答 児童生徒の学力、体力を向上させるとともに「生きる力」を育む教育活動を推進したい。

問 江戸川区のバス交通について。

①コミュニティ交通について検討すべき。

②環七シャトルセブンの利便性向上について。

答 ①採算性を確保できる路線を検討したい。

②交通事業者等と協議しながら検討したい。

現役世代・働く子育て世代の声を区政に届ける

無所属の会
小林 あすか



問 令和6年能登半島地震から災害時の備えを考える。

- ①自助の重要性を啓発し、家庭備蓄の推進を。
- ②避難所での母乳育児の情報共有と対応を。乳幼児用の液体ミルク等必要な方への配慮を。

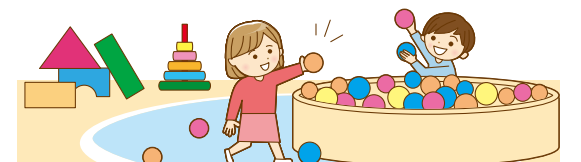
答

- ①防災アプリやSNSを活用し工夫する。
- ②避難所でもいつもの授乳ができる体制を整えたい。民間等との円滑な連携・協力を検討する。

問 働く子育て世代の声として。

- ①認可保育園の延長保育のニーズについて。
 - ②保育料の第二子の減免補助について。
 - ③子育て世帯へのメッセージと今後の支援は。
- 答**
- ①「未来を担う子どものための区民基礎調査」の分析で、より詳細なニーズを把握したい。
 - ②認可外保育施設利用者への保育料補助の拡充の必要性や可否について今後も研究したい。
 - ③今後も多様化するニーズを捉え、全ての子育て世帯に寄り添った支援をしていきたい。

問 子どもが遊べる屋内施設の設置の検討を。



子どもが遊べる屋内施設の設置について

答 既存施設も多い。公共施設の再編・整備の中で様々な角度から施設のあり方を検討する。

問 区立小中学校の学習環境について。


- ①タブレット端末学習の使用状況について、各学校や教員によって差があると感じるが。
- ②家庭でのタブレット端末利用について、初期設定による使用時間の制限等工夫が必要では。
- ③特性がある配慮が必要な子の学びの保障について。専門家による助言や支援等の工夫を。
- ④性犯罪を防止するための対応について。

答

- ①授業支援ソフトの導入や、好事例授業の情報共有で教員の活用意識も高まっている。
- ②今後GIGA端末検討委員会を設置し、児童生徒が自己管理できる運用ルール等も検討する。
- ③教育課題実践推進校での研究を進め周知する。教員への専門的助言は引き続き支援したい。
- ④コンプライアンスの徹底を各校に呼びかける。

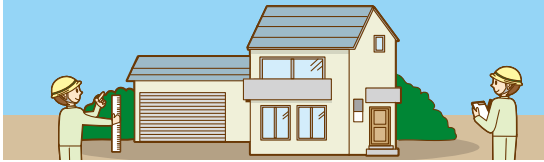
命を守る耐震シェルター・庁舎問題説明・生保行政拡充

日本共産党
小俣 のり子



問 江戸川区の震災対策について。

①家屋の倒壊を防ぐ対策について。



家屋の倒壊を防ぐ対策について

- 1)耐震化率残り2%の家屋への対策について。
- 2)2000年以前の新耐震基準建物への対策は。
- 3)耐震シェルター等への助成も検討すべき。
- 4)家具の転倒防止策の推進と拡充について。

- ②感震ブレーカー配布と分電盤式補助も検討を。
- 答 ①1)更なる耐震化の促進に取り組みたい。
2)個別訪問により助成制度等を伝えていく。
3)建物全体の耐震化が促進するよう取り組む。
4)制度周知に努め、拡充は建築組合と相談する。
②申込期限を延長した。各家庭の対策を求める。

問 新庁舎建設と現庁舎跡地問題について。

- ①工事費上昇の経緯と要因、区民への説明を。
②再開発事業と庁舎建設の関連について。
1)土地と工事費を合計した保留床の金額は。
2)新庁舎建設への国や都の補助金について。
3)再開発ビルの床の購入における区の責任は。
③「本庁舎跡地の活用に係る勉強会」の報告書を尊重する立場なのか。区役所機能の存続は。


- 答 ①機能強化分に87億円、資材高騰等の影響で200億円と分析する。周知に努めたい。
②1)保留床の額、提示時期は未定である。
2)現段階で適用できる国や都の補助金はない。
3)区を含め権利者に負担が生じることはない。
③報告書を踏まえ小松川警察署の移転先として進め、区民サービスの維持・向上を検討したい。

問 区の生活保護行政について。

- ①再発防止策の明示と有識者会議の設置を。
②資格の保有率引き上げと人員の見直しを。
③制度の周知を図るポスターの作成について。
④遺体放置事件の公表の遅れについて。生活困窮者に関する条例を取りやめた判断について。
⑤内部公益通報による不適正事務について。
- 答 ①実施する。会議体の予算は計上した。
②資格取得支援と配置基準に基づき取り組む。
③効果的な周知ができるよう実施していく。
④今後は「事件・事故等の公表基準」に基づき迅速に公表する。条例は内容を検討したい。
⑤再発防止策を徹底していく。

新庁舎建設費600億円、防災情報メラ46億、十分な説明を！

立憲民主・国民民主
笹本 ひさし



問 新庁舎建設の工事期間の延期及び工事費について区民に分かりやすい説明を。地域で公的手続きが完結できる区を目指すべき。

答 コスト削減を踏まえた整備内容を広報等で示す。パソコン操作が不得手な方の支援も検討し、身近に手続きができる体制を目指したい。

問 ハラスメント根絶宣言ポスターを区施設等に掲示しては。あらゆるハラスメントの根絶に向

け、全区的に取り組むべきと考えるが。

答 法律サポート相談や研修等実施している。ポスター作成の検討も含め、ハラスメント根絶に向け様々な手段を通じて周知・啓発したい。

問 第三号被保険者制度制定時から社会環境が変革した今の本制度の認識は。現在の社会環境下における制度の配慮すべき点について。

答 年金部会で不公平は正等見直しの議論が進んでいると認識している。国で見直ししており、現行制度の理解が進むよう周知したい。

問 災害時防災用カメラと自営通信網システム構築について、既存キャリアとの価格差は。整備に向けた決意とシステムの活用について。

答 アンテナの耐用年数20年で試算すると、通信費がない自営通信網は民間の衛星通信と比べ10分の1以下の費用になる。今後はAI機能搭載による機能拡張や活用場面を研究したい。

問 学校改築時に屋内温水プールを整備することで、災害時での活用や健康施設として地域に開放できると考えるが、区長の所見を。

答 「学校プールの整備方針」で温水プール整備等を検討している。学校改築では学習環境整備と同時に、避難所に必要な機能を検討したい。

問 歯の健康施策について、全児童生徒に良質な歯ブラシを毎月安定的に供給できるのか。学校歯科健診における早期治療の勧奨を。




小中学校への歯の健康施策について

答 安定的配布のため入念に準備しており、健康な口腔維持のため歯科保健教育を行っていく。今後も学校・学校歯科医と連携し受診勧奨する。

一般質問

地域課題の解決、子どもたちへ明るい未来を

自由民主党
勝山 まゆみ



問 子育て世代の声を聞き他の世代からも共感を得る取り組みが重要である。今後の人口減少と少子化、子育て支援への展望について。

答 全世代の理解を得ながら50の子育てプランについて常に検証を行い、適時適切にその時のニーズに合わせた取り組みを進めたい。

問 行政需要増の中、今後の基金積み立てと残高推移への考えは。大幅に基金を取り崩した場合の影響と、今後の基金の活用方針について。

答 2026年以降基金残高の減少を見込む。大幅な基金取り崩しは事業展開等が困難になるため、今後も需要に見合う基金を積み立て、将来世代に先送りしない健全財政を堅持する。

問 公共施設再編・整備計画について。

- ①区民参加を含めた計画の進め方は。具体的な実施計画の策定や庁内体制等が必要と考えるが。
②グリーンバスの今後の整備について。
③防災拠点や多目的広場として大きな期待を集める旧第二松江小学校の跡地活用について。

答 ①庁内全体で議論する。区が持つ媒体を広く活用し地域の意見を伺い計画を具体化したい。
②将来世代に負担を残さないよう、地域の声を伺いながら、庁舎移転後も人の流れが継続する

賑わいの維持・向上を目指したい。

③基本方針等に基づき、一部校舎を避難所機能、多世代交流の場として当面活用する。校庭はボールが使用できる多目的広場にしたい。

問 学校教育について。

①不登校対策について、教員と児童生徒の関わり方の分析と、保護者との良好な関係づくりに向けたサポート体制について。

②代替教員を探す教育委員会の役割と、学校との連携について。代替教員の確保について。

答 ①教員が児童生徒と向き合える時間を十分に確保し理解を深める中で、保護者との良好な関係づくりができるようサポートしたい。

②区教育委員会でも電話等で意欲のある方を学校に紹介している。代替教員を含め教員の確保に向け、都教育委員会と連携し進めたい。

問 障害者福祉の推進について。

①精神障害のある方と家族が持つ苦しみや悩みを少なくするための体制づくりについて。

②障害のある方の親亡き後の課題について。

答 ①様々な相談体制や関係機関との連携強化、理解促進の普及啓発を行い、住民等と協力して精神障害者を支援する地域にしたい。


②グループホーム開設時の設備費補助や、緊急時の受け入れ等行っている。今後も障害当事者や家族の声を丁寧に聞き取り組んでいく。

問 農業、伝統工芸、金魚養殖業等の伝統的区内産業の保全と維持・継承のために、今後どのような振興策に取り組んでいくのか。

答 プロモーション活動、人材確保と技術の継承、生産基盤の保持に向けた取り組みを総合的に展開して今後も必要な施策と支援を行いたい。

2000年基準での住宅耐震化及び液状化対策の推進を！

公明党
所 たかひろ



問 住宅耐震化の更なる推進と液状化対策について。

①2000年基準の耐震化について、現状を把握し目標を示した推進が必要と考えるが。

②宅地における液状化対策について、今後どのように推進していくのか。

③上下水道等の液状化対策の現状と、区道等における公共施設の液状化対策の課題について。

答 ①耐震相談会の回数増や個別訪問を実施している。旧耐震基準も含め工事助成限度額の増額等、更なる耐震化促進に取り組みたい。

②都の制度内容の確認や他自治体の動向を注視しながら、行うべき液状化対策を研究する。

③水道管路の耐震継手は6割強が完了している。道路部分は補助制度が確立していない等の課題があり、課題解消に向け国等に働きかける。

問 空家等対策特別措置法の改正を踏まえた今後の老朽空き家対策と、空家等管理活用支援法人制度による空き家の利活用推進について。

答 都との連携で老朽危険家屋の除去や建物の適正管理に努める。空き家マッチング事業の有効活用や、支援法人指定について他自治体の動向も踏まえ関係団体と意見交換し検討する。

問 ごみ収集のDX化について。

①ごみ収集のデジタル化・DX化を進めていくべきと考えるが、区長の所見を。

②家庭から排出される使用済み紙おむつのリサイクルについて研究し取り組んでいくべき。

答 ①粗大ごみ収集では収集現場から収集状況

をタブレット端末に入力するシステムを開始した。他自治体の事例も参考に研究したい。

②産官学の技術革新や設備投資を視野に入れ、環境負荷の少ないサーキュラー・エコノミー実現に向けて研究を進めていく。

問 在宅介護支援の更なる取り組みについて、介護離職防止のため、介護休業制度の普及活動等が必要と考えるが、今後の方向性は。

答 従来の取り組みを拡大するとともに、仕事と介護の両立を支援するため、様々な立場の関係者の意見を取り入れて更に推進したい。

問 区立図書館について。

①今後の本区の図書館に求められる機能や魅力ある図書館について、区長の所見を。


②返却ポストの増設を含め、区立図書館の利用率向上のための取り組みは。

答 ①図書館の基本的な機能は維持しつつ様々な目的を持った多くの人が集う地域コミュニティの拠点となる図書館を目指したい。


②図書館サテライトの更なるPR活動を行うとともに、増設や機能の拡充を含め検討する。

問 教育課題実践推進校の研究成果と課題を踏まえた、今後の学びのユニバーサルデザインを取り入れた授業づくりについて。

答 実践研究を進め、広く周知を行うとともに、教員が授業研究を丁寧に行うことができる時間の確保に向けた取り組みを進めたい。



区民にとって不利益となる入札制度は改めよ!
無所属の会
ます 秀行



問 新庁舎建設計画に生じた工期延長・建設費増の原因と今後について。

①建設費大幅増について、誰による積算なのか等具体的な内容と受け止め方について。

②当初の試算の見通しに甘さはなかったのか。

③他自治体の事業経験者を部内に配置しては。

答 ①契約価格の調査等、専門家と区で十分に精査した。工事費高騰は社会的要因だが、負担増は区民に申し訳ないことと受け止めている。

②当初としては適切な概算だったと考えるが、甘さの指摘はもっともだと考える。

③庁舎建設経験のある他自治体職員は少なく雇用は難しい。コンストラクションマネージャーを採用した現体制で引き続き推進したい。

問 小中学校改築事業の入札制度について。

①区内業者優先の入札制度が区民にとっては不利益になる可能性があるが、区の見解は。

②元請ではなく下請として区内業者の活用を促す制度にしては。

③受注制限緩和の制度改定によるリスクは。

④そのリスクを区が負担する理由とは。

⑤区内業者育成の具体的な成果を示すべき。

⑥区内業者育成について育成の定義とは。

答 ①価格点は高くても社会的要請点が低く落札できない案件は価格面で不利益といえる。総合評価による選定が区民利益に繋がっている。


②区内下請業者の活用を促しつつ、引き続き元請業者としての参加を促す方針を継続する。

③④技術者確保困難のリスクは認識しているが、継続的な学校改築のうえで、業者が入札参加を積極的に検討できる環境づくりの一環と考える。


⑤区外業者がJVとして参加しながら、技術力向上や体制強化等に取り組んだことが、区内業者

の単独受注に大きく寄与したと考える。

⑥企業業績への寄与、雇用の創出・安定、地域経済活動の増進等が事業者の成長と考える。



船堀駅周辺に図書館を、芸術振興、国保料値上げ中止
日本共産党
太田 あやか



問 船堀駅周辺への図書館設置について。

①船堀駅周辺が図書館空白地域で、図書館設置へ多くの署名が集まっているが、その認識は。

②船堀駅周辺に図書館法に基づく図書館設置のためあらゆる可能性を多角的に検討すべき。

答 ①署名が集まっていることは把握している。

②図書館サテライト機能の拡充も含め、より良いサービスを提供できるよう検討したい。

問 本区の文化・芸術活動の充実について。

①身近なところで文化・芸術活動ができる環境づくりのため、より具体的な方針と目標を。

②公共施設の音楽室利用者のニーズを把握し、防音設備の整った場所の維持と拡充を。

答 ①各地域の学校を身近な文化やスポーツ活動拠点と位置づけ、活用を検討していく。

②小音量の楽器は集会所で利用できる等、弾力的に運用しており今後も活動の充実を図りたい。


問 国民健康保険料について。

①一般財源からの繰り入れを増額し、国保料を据え置くことを求める。


②未就学児の国保料均等割額2分の1軽減を、区独自に18歳までの子全員に拡大すべき。

答 ①国保加入者以外の区民にも負担を求めることになる。法定外繰入を増やす考えはない。

②国において検討するものと認識しており、区独自で実施するものではないと考える。



若者からシニアまで誰もが希望を持てる江戸川区へ
立憲民主・国民民主
きもと 麻由



問 若者に「デザイン思考による問題解決」を体験してもらうため、共育プラザを拠点にした高校生デザインプロジェクトを開催しては。

答 高校生の若さ溢れる発想は歓迎すべきで、共育プラザでの高校生の活動幅も広がると考える。共育プラザの理念である中高生の自主性も尊重して今後の事業展開の参考にしたい。

問 「江戸川区で学び、江戸川区で働く」を充実させる江戸川総合人生大学の活用について。

①現役世代の社会人も参加しやすいカリキュラムの検討を。授業を受けやすくする工夫、生徒配布のタブレット端末の活用について。

②大学や専門学校との連携による資格取得や、専門的なカリキュラムを提供して仕事に繋げることができる取り組みを。


③卒業生に対して学びを活かすことができる働き先を紹介する場を設けては。

答 ①授業数を減らしたカリキュラムや、土曜日授業の実施等工夫している。タブレット端末はレポート提出等で活用し、スキルに応じて利便性の高い方法を選択できるよう配慮している。


②資格取得が目的でなく、共育・協働の社会づくりのために学びを活かしていくという建学の精神を学生に理解していただき、大学の基本理念に

基づくカリキュラムを提供したい。

③就労についてはハローワークや介護の担い手研修等で行われている。江戸川総合人生大学で働き先の紹介は考えていないが、今後も卒業生が活躍できるように寄り添いたい。



DV被害者支援・インクルーシブ教育の推進
生活者ネットワーク・れいわ新選組
本西 みつえ



問 共同親権導入の民法改正によるDV被害者等の不利益について。子どもの意見を聴く環境整備や、DV防止と被害者への支援は。


答 国の動向を注視して適切に支援し、子の意見表明の大切さを周知する。今後も関係機関と連携してDV防止と支援に取り組みたい。

問 子宮頸がん(HPV)ワクチン接種再開にあたり学校での相談体制の対応は。男子への接種リスクと積極的勧奨しなかった理由は。


答 パンフレット等配布し相談を促す。男子への接種も副反応リスクがあり定期接種でないため勧奨しないが、費用助成は検討したい。

問 国連の障害者権利委員会の勧告について。就学通知の早い時期の送付と介助員の役割、小中学校における保育所等訪問支援について。

答 インクルーシブ教育の取り組みを推進し、就学通知は1月発送を予定する。都実施要綱に基づく介助員配置と、保育所等訪問支援における各支援機関との連携について研究する。



子どもたちの未来を守るため包括的性教育を
日本維新の会
林 あきこ



問 幼児期における包括的性教育について。

答 幼児期からの普及啓発は重要で、今後も関係機関と連携して包括的性教育を推進する。

問 「生命(いのち)の安全教育」について。

①区立幼稚園、小中学校での性教育の現状は。


②「生命の安全教育」の今後の取り組みは。

答 ①区立幼稚園では絵本を活用した指導、各々学校では教育活動全体を通し指導している。


②学習指導要領内容の確実な指導とともに、現代的な課題を踏まえ適切に安全教育を実施する。

問 中学生へのプレコンセプションケア周知を。

答 タブレット端末の活用や区ホームページ等の充実を図り、更なる周知啓発を行いたい。



太陽光パネルの是非を問う 区民に伝えるべきリスク
無所属
五十嵐 まさお



問 太陽光パネルの環境負荷と安全対策は。

①製造時に大量のCO₂を排出するが見解は。

②有害物質を含む環境汚染リスクへの周知は。

答 ①2年程の稼働で回収できると見込まれる。

②国等の動向を注視し管理方法を周知したい。

問 太陽光パネルの災害時における対策は。

答 注意喚起等で災害時リスク軽減を目指す。

問 太陽光パネルの廃棄等への費用補助は。

答 都の補助制度の周知に努めていきたい。

問 国や都の太陽光パネル事業の区の見解は。

答 国や都の政策の整合性を図り対応する。

予算特別委員会

予算特別委員会は、2月26日から3月11日までの間の8日間にわたって鋭意審査が行われました。

3月11日の委員会で、各会派からの意見開陳ののち、表決の結果、令和6年度一般会計予算と各特別会計予算は、それぞれ原案のとおり可決しました。なお、委員会に一般会計予算についての修正案が提出されましたが、否決しました。

※本会議の審議結果は7ページをご覧ください。

令和6年度一般会計予算に対する賛否

賛 成	反 対
自民・公明・無会・立国・ネレ・維新・無所属	共産

令和6年度予算に対する 各会派の意見・賛否

自由民主党

賛成

各事業の内容はもとより、持続可能な財政こそ区政発展の基盤であるとの認識に立ち、区政運営が区民のニーズに添っているか、本区の未来と将来世代に対する責任を考えているか、これらの視点を基本方針として審査した結果、区議会自由民主党は、令和6年度一般会計並びに特別会計予算に賛成する。

【主な要望】

- 特別区財政調整交付金は極めて重要で予算への影響が大きい。税源偏在是正に関する議論ではしっかりと区の主張を訴え続けること。
- 経済環境の変化に機敏に対応できるよう基金を十分に活用して健全財政を維持すること。
- 庁内のハラスメント予防等の対策、人間関係に基づく中途退職者を増加させない対策等の実施により、職員が働きやすい環境の整備を。
- 新公会計制度では、財務諸表の公表と2100年を見据えた公共施設の見直しにも活用を。
- シティプロモーションでは、中心的キャラクターの制作やPR大使・広報大使の選任を。
- 国際交流センター設置後には、センター機能の更なる展開と拡充を。
- SDGsを啓発するユニークなキャラバン車をつくり、小中学校を回ることで、区民のSDGsに対する理解を深めること。
- 新庁舎建設では、コンストラクションマネジメント会社等の協力を得て進め、工期延長や工事費増の際は適時に区民に情報提供すること。
- 間仕切りやダンボールベッド等を用意して段階的に避難所環境を改善し、「救えたはずの命」を失うことがないように力を注ぐこと。
- 感震ブレーカー配布事業について申込件数の割合が低いことから、無料配布は継続を。
- 警察と連携を図り特殊詐欺対策の強化を。
- 海外2つの姉妹都市交流の一層の活性化を。
- これからの町会・自治会の在り方を考え、「地域力を高めるコミュニティとひとづくり」を中心とした地域を繋ぐ・守る対策を講じること。

- 農地買取による農地保全については、農地面積の減少状況に鑑み、農地保全の手段のひとつとして施策の推進を。
- 花卉栽培の広報、花卉の即売会の葛西地区での開催と広報を。
- 生物多様性の視点から、子ども達が地域の自然に関心を持って触れ合う教育の推進のため、身近なところでの川の生き物等の展示を。
- 小型・中型犬向け小規模のドッグラン設置を。
- ごみ収集事業では、集積所の増等で事業者の負担が増えている。継続的運営を図る対策を。
- 成人歯科健診や口腔ケア健診の受診率向上の対策と、訪問健診等による歯科健診により区民の歯と口腔の健康づくりの更なる推進を。



成人歯科健診事業について

- 江戸川区家庭料理検定では、児童が学んだ調理等の発表の場として「弁当の日」の推進を。
- 介護付有料老人ホーム居住費補助等を講じて、早期に特養待機者解消の対策を図ること。
- 鹿骨地区等の「農の風景育成地区」における取り組みでは、地元住民の協力と自発性を尊重し、魅力あるまちの発展を推し進めること。
- マンション管理組合への支援事業の拡充と、マンション管理計画認定制度の利用促進を。
- 高規格堤防整備について、今後も住民に寄り添いながら、国や都と調整して進めること。
- 駅前広場と駅周辺におけるガムの噛みカスの除去・清掃について計画的に進めること。
- 区内駅前や公園においてスタイリッシュな魅力ある公衆トイレの設置を。
- 外国語指導助手（ALT）の配置増について、生徒の学習意欲を高める効果的な運用を。
- 小中学校の教員の授業力向上のために指導主事の増員を。
- 児童・生徒の読書率向上のため、小中学校の校内に複数の図書コーナーを設置すること。

公明党

賛成

持続可能な行財政運営を維持しつつ「安全・子育て・水とみどり・人生100年・元気な産業」の5つの視点を取り入れた共生社会の実現を目指す予算編成を高く評価し、区議会公明党として、令和6年度江戸川区一般会計予算と各特別会計予算に賛成する。

【主な要望】

- 災害対策や公共施設の再編・整備、少子化対策等、区民を守るサービスの堅持を。
- 23区初のメタバース区役所は、データの活用で更なる業務の効率化を図ること。
- 本庁舎跡地利用については、複合施設として新たな賑わいのあるまちづくりを。
- 災害用カメラと自営通信網システムの構築は、万全の準備と計画で早期に実現すること。
- 避難所開設訓練の拡充と、女性の視点を活かした備蓄物資や避難所運営の更なる推進を。
- 清掃事業の雇上単価の見直しとペットボトル回収の課題解消について、清掃事業者と協議のうえ、持続可能な事業とすること。
- 図書館サテライトは、改築校とともに瑞江駅を含めた「近くの駅サテライト」の開設を。

- ユースサポート事業では、不登校児童・生徒の居場所機能とともに、学習支援の拡充や、学校の出席扱いとなるようにすること。
- おくやみコーナーは、今後とも遺族に寄り添い、更なる窓口サービスの利便性向上を。
- 買い取り等による農地保全の更なる推進を。
- 経営支援資金特別融資と特例借換貸付融資を多くの区内事業者が利用できるよう周知を。
- 結婚を望む方が安心してマッチングアプリを利用できるよう支援の推進を。
- 高齢者の見守りとして、民間緊急通報システム「マモルくん」の条件緩和による更なる普及や三療サービス継続を。
- 共生型複合施設である特別養護老人ホームの更なる整備を。
- 福祉総合窓口は、職員の専門性の強化と電子申請によるワンストップサービスの向上を。
- 避難行動要支援者対策として、個別避難計画の策定支援を。
- 生活保護行政見直しの徹底と体制強化を。
- 医療的ケア児と家族が安心して暮らせる支援の強化と受け入れ保育園の更なる整備を。
- 子どもショートステイ、ファミリーサポートは、電子化等でレスパイトケア支援の拡充を。
- 拡充された出産・子育て応援事業や子育ておむつ定期便が、経済的支援と産後間もない母子の孤立を防ぐ取り組みとなること。
- 1か月児健診及び産婦健診、5歳児健診の実施及び小児用インフルエンザワクチン接種の助成制度の実施を。
- 自殺防止対策について「生き心地のよい」地域社会実現のための推進を。
- 「自転車乗るならヘルメット」と着用の更なる普及を。



自転車用ヘルメットの着用の普及について

- 学習用タブレット端末のアクセス制限と更なる活用、校務の更なるデジタル化を。
- 区立小中学校での睡眠健診の継続、歯磨き習慣やフッ化物洗口の推進を。
- 本区独自の学力調査は、序列や順位を競わせるためではなく、経年で子どもの良さや課題を見取り、教員の指導力向上に活かすこと。
- 校内別室指導については対象校の拡大を。
- チャレンジクラスや学校サポート教室の補習教室では、個に応じた学びの場とすること。
- 発達障がいのある子ども達への支援については、オンライン等を活用した全教員への研修会の開催、読み書きに困難を要する子ども達への学習支援等に関する専門研修の実施を。
- 認知症あんしん検診の補助対象年齢拡大とGPS機器の設備を含めた支援のネットワーク強化の推進を。

無所属の会

賛成

令和6年度一般会計及び各特別会計予算に賛成する。

【主な要望】

- 生きがいをもち働ける区役所にすること。
- 学校改築における区内業者優先制度は限界である。制定時と建設業界の環境も異なり2年連

続不調という事実を受け止め制度を検証・見直すべき。区長等が主導する対策部会の設置を。

- 葛西沖の開発について、港湾計画への繰り入れを都に対して要望すべき。
- 本庁舎跡地について勉強会の3要素を大事にし、地域と警察署との新しい在り方の模索を。
- 地区防災計画については、生活振興部とも協力して町会自治会での策定に支援を。
- 新庁舎建設費増と工期延長について、考えられる選択肢を検証し対策を行うべき。新庁舎とタワーホール船堀との一体化計画案も検討を。
- 生物多様性を意識した公園整備の推進を。
- ごみ集積所でのカラスによるごみ散乱を防ぐため、ボックス型ごみステーションの導入を。
- 学校図書館司書は常駐配置に向けた検討を。
- 子育ておむつ定期便では土日訪問設定を。
- 受動喫煙防止対策、ポイ捨て等迷惑行為防止対策について、更なる強化と対応の徹底を。
- 子どもの食育について、江戸川区家庭料理検定では「弁当の日」の実践に繋げること。
- 安心して子育てできるように、認可保育園の延長保育や、第二子の保育料免除の拡大を。



安心して子育てができる環境について

- 子ども食堂について、みんなと食べられない子のため、配食・宅食への補助金は継続を。
- 春江橋の架け替え工事では、オープンハウス型説明会を随時行い、丁寧に事業を進めること。
- 教員の校務用端末と子どもの学習用端末との連携について、国の施策を待たず検討を。
- 学校の登下校の見守りでは、不審者情報が日々入る中、委託による見守りの開始を。
- 知的障害を持たない発達障害の子のための固定学級の新設に向けて研究を。
- 学用品は使用頻度を考慮し学校側で用意を。制服リユース等活動が広がることを期待する。

日本共産党

反対

新年度予算案には、特養ホーム増設や新たな農地保全策等、貴重な前進もあるが、区政の基本問題について重要な問題点があり、令和6年度一般会計予算・各特別会計予算に反対する。

【主な反対理由】

- 区立保育園に必要な正規保育士を配置せず、休日保育で保育士が毎週替わるのは乱暴である。株式会社立の保育園人件費割合を50%以上にするルール設置を求めても否定する姿勢。保育従事職員宿舍借り上げ支援事業では都基準外の職員を除外する姿勢。船堀駅周辺の図書館設置や補聴器購入費助成拡充に応えるべき。



区立保育園における正規常勤保育士の配置について

- 国のスーパー堤防を高台まちづくりとして新たな拘束力を用いて進める姿勢は容認できない。新庁舎建設費や現庁舎跡地の情報開示が不十分。Park-PFIによる公園整備で住民理解より事業者調整を優先した姿勢。感震ブレーカー配付を新

年度予算に入れず一括遮断タイプ普及に消極的。耐震シェルター設置等も否定し、能登半島地震後の対応として不十分である。

- インボイス制度による増税、区の利用料・使用料への消費税転嫁もやめるべき。マイナンバーカード事業は大企業の儲けに繋がり、個人情報流出事故の課題も解消していない。羽田空港の過密化解消等を国に求めるべき。
- 小1支援員配置に否定的な姿勢。給食費無償化は不登校児も対象にすべき。都の給食費補助財源の活用で学習用具補助等行うべき。奨学金制度は拡充を。新たな学力調査導入に反対、英語スピーキングテスト中止を都に求めるべき。
- 国保料は据え置きし、子どもの保険料は減免すべき。現行の健康保険証廃止は反対である。
- 介護保険料について低所得の区民にまで負担増を強いる区の姿勢は容認できない。
- 後期高齢者医療制度は廃止するべき。

立憲民主・国民民主

賛成

令和6年度一般会計及び各特別会計予算に賛成する。

【主な要望】

- 都区間の財政調整協議において、区側の意見が聞き入れられない状況は極めて遺憾である。他区に先駆けて児童相談所を設置した本区は、今後も粘り強く都に主張すること。
- 公益通報者保護制度において、区職員及び区業務従事の指定管理者等に周知して適切な運用を。労働者が公益通報しやすいよう求める。
- 令和6年度も安全衛生委員会が適正に開催され、職員にとって安全な区役所にする。
- 新規事業「キャラクターを活用したSDGs行動促進事業」について、区のゆるキャラ活用を広げること。現行の「TOMONI」サイトでは、TikTok等活用して周知を。「SDGs FES in EDOGAWA」では、ポスター等デザインを統一し、本区のブランドイメージを創出する仕組みの検討を。
- 二十歳を祝う会における「ユースフォーラム」では、若者の新しい発想の提案をサポートし、心に残る式典内容の検討を。他自治体を参考に時代のニーズに合わせていくこと。



二十歳を祝う会におけるユースフォーラムについて

- 再生可能エネルギー100%電力導入支援の新規事業については、行政による特定の電力契約への誘導に繋がるため中止を求める。
- 生態系における科学的な知見を区民と共有し、区民対話の中で、より良い生物多様性の在り方とその取り組みを探求すること。
- HPVワクチンの男性への接種について、科学的根拠を踏まえ任意接種を前提にして、接種費用の助成を導入すること。
- 生活困窮者を支援する条例を策定する意向であれば、生活保護受給者をはじめ生活困窮する当事者へ大規模調査を実施すること。

生活者ネットワーク・れいわ新選組

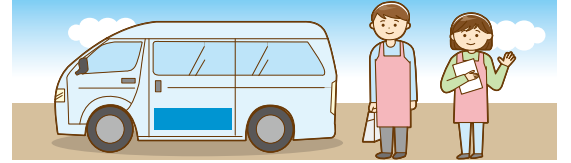
賛成

子ども達への支援を盛り込んだ施策に期待し、

令和6年度予算に賛成する。

【主な要望】

- この度の訪問介護サービスの介護報酬改定はマイナス改定である。国に改善の要望を行うとともに、事業者支援と人材確保を。



訪問介護のマイナス改定について

- 災害用に設置するカメラについて、プライバシーを守り、発災時には命の安全を第一にして使用する旨を明文化すべき。外部の有識者と市民が参加した条例の制定を。
- 産後ケアについて、地域の子育て中の母親と繋がりをつくる通所集約型の実施の検討を。
- 地域全体で再生可能エネルギーの使用を増やすことを学習会等で区民に説明し周知を。
- ファミリーサポート事業の報酬の見直しを。
- 液状化しやすい本区では建物の耐震補強に加え、地域によっては地盤改良も必要である。
- 耐越水堤防等の工法もある。スーパー堤防整備方針は見直しを。内水氾濫対策を進めるべき。
- スクールソーシャルワーカーの活用は、学校への説明と研修等の丁寧なサポートを。

日本維新の会

賛成

住民の利益が最大限考慮され、社会情勢の変化に適切に対応しているかという観点から審査した結果、令和6年度予算に賛成する。

【主な要望】

- 広報えどがわについて全戸配布の検討を。
- 庁用車について、カーシェアリング等を活用しコスト減も含め台数の最適化を。
- 現在の防災の情報発信方法について検証し、内容の充実と適切な広報手段に配慮すること。
- ひきこもり支援について、住民への普及啓発と民間機関との連携等、より一層の支援を。
- 病児・病後児保育について、利便性向上のためにもインターネット予約の復活を。



病児・病後児保育のインターネット予約について

- 難聴・認知症・耳垢の関係について周知を。
- 学校サポート教室への補習授業について学習進度への対応等しっかりとした伴走支援を。

無所属

賛成

令和6年度一般会計及び各特別会計予算に賛成する。

【主な要望】

- 中等度難聴児補聴器購入費助成については、軽度難聴児への助成の拡充を。
- 不燃化推進特定整備事業について住民への粘り強い説明と区民の生命・財産を守る対策を。
- 上篠崎一丁目北部土地区画整理事業について、スーパー堤防の完成は住民との約束である。

議案等の審議結果

議案の内容はホームページに掲載しています。右記のQRコードからご覧になれます。



全会一致となった議案等の審議結果

件名		結果
区長提出議案	予算	可決
	令和5年度江戸川区一般会計補正予算（第11号）	
	令和5年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）	
	令和5年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	
	令和5年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	
	条例	
	江戸川区附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	
	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	
	幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	
	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	
	江戸川区選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
	江戸川区長及び副区長の給料等に関する条例の一部を改正する条例	
	江戸川区教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	
	江戸川区監査委員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	
	江戸川区事務手数料条例の一部を改正する条例	
	江戸川区民健康施設条例の一部を改正する条例	
	江戸川区印鑑条例の一部を改正する条例	
	江戸川区指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例	
	江戸川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
	江戸川区保育認定子どもの利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例	

件名		結果
区長提出議案	契約	可決
	江戸川区立一之江小学校教室棟外解体工事請負契約	
	江戸川区立葛西第二中学校教室棟外解体工事請負契約	
	その他	
	特別区道の路線廃止について	
	特別区道の路線認定について	
	東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約	
	児童相談所を設置する特別区における措置費共同経理課の共同設置に関する規約の一部を変更する規約	
	債権の放棄について（12件）	
	同意	
議員提出議案	江戸川区教育委員会教育長の任命同意について	同意
	江戸川区監査委員の選任同意について	
若者のオーバードーズ（薬物の過剰摂取）防止対策の強化を求める意見書		可決

区長提出議案に対する議員別の審議結果はこちらをご覧ください。



■2月21日議決分



■3月25日議決分

意見が異なった議案等に対する各会派の態度（○…賛成、×…反対）

※1 議長を除く

件 名			自民	公明	無会	共産	立国	ねれ	維新	無所属(50音順)		結果
			11人※1	12人	5人	4人	4人	3人	2人	1人	1人	
区長提出議案	予算	令和6年度江戸川区一般会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
		令和6年度江戸川区国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
		令和6年度江戸川区介護保険事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
		令和6年度江戸川区後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
		令和6年度江戸川区一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
		令和6年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
	条例	江戸川区個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
		江戸川区介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
請願・陳情		1号 江戸川区はスーパー堤防事業を中止し、区民に移転を強いることのない耐越水堤防の建設を求める陳情	○	○	×	×	×	×	○	○	○	不採択 ※2
		2号 都市計画道路補助第283号線拡幅計画の即時撤回を求める陳情	○	○	○	×	×	×	○	○	○	
		8号 篠崎公園地区高規格堤防と一体の土地区画整理における宅盤高さの基準を公平に定めることを求める陳情	○	○	×	×	×	×	○	○	○	
		9号 補助第288号線のボックスカルバートをやめて道路面を計画堤防高に揃えることを求める陳情	○	○	×	×	×	×	○	○	○	
		10号 マスク着用により生じる健康被害のリスクの調査と周知を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
		11号 新型コロナウイルスワクチン接種の即時中止を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
		13号 羽田新ルート（荒川ルート）の運用中止と教室型住民説明会の開催を国に働きかけるよう求める陳情	○	○	○	×	○	×	○	○	○	
		27号 葛西臨海水族園建て替えによる樹木の大量伐採に反対する陳情	○	○	○	×	×	×	○	×	○	

※2 不採択に賛成…○、反対…×

会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、無会…無所属の会、共産…日本共産党、立国…立憲民主・国民民主、ネレ…生活者ネットワーク・れいわ新選組、維新…日本維新の会、無所属…会派に属していない議員を左から50音順に表記しています

皆さんから提出された請願・陳情

請願・陳情については、こちら⇒



新たに受理されたもの		付託委員会
29号	「子どもの扶養控除に関する意見書」に関する陳情	総務委員会
30号	対外的情報省と横田基地について意見書提出に関する陳情	総務委員会 参考送付
31号	江戸川区の生活保護行政における生活保護受給者の苦しいプライバシー侵害といえる江戸川区独自書式の生活状況報告書に関する陳情	福祉健康会 福委
32号	パンデミック条約締結及び国際保健規則改正に係る意見書を国に提出することを求める請願	福祉健康会 福委

今回の定例会で取り下げられたもの	
19号	情報UD（ユニバーサルデザイン）推進係の創設を求める陳情

議員から提出された議案

—意見書は各関係機関に送りました—

○若者のオーバードーズ(薬物の過剰摂取)防止対策の強化を求める意見書

〔厚生労働大臣、孤独・孤立対策担当大臣 あて〕

市販薬は違法薬物とは違い、所持することで罪にはならないことから、濫用が発見されにくいという現実があると同時に、オーバードーズによる健康被害は、違法薬物よりも深刻になる場合もある。よって、政府において、このような薬物依存による健康被害から一人でも多くの若者を守るために特段の取り組みを求める。

詳しくは、江戸川区議会のホームページをご覧ください。

能登半島地震の義援金を石川県に寄付しました

令和6年1月1日16時10分、能登半島を震源とする最大震度7の地震が発生し、石川県では多くの死亡者が確認されました。この事態を受け、江戸川区議会議員44名全員から義援金が集まり、集まった義援金500,000円は、区議会を代表して議長、副議長により、令和6年1月18日に石川県東京事務所に寄付されました。この義援金は、石川県災害義援金配分委員会を通じて被災した各自治体へと配分されます。

■義援金贈呈式の様子

令和6年度 予算編成5つのポイント

- 1

安全で住みよい江戸川区
- 2

子育てするなら江戸川区
- 3

水とみどりの江戸川区
- 4

人生100年 江戸川区
- 5

元気な産業 江戸川区

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT

GOALS

1

貧困をなくそう

2

質の高い教育をみんなに

3

気候変動に具体的な対策を

4

働きがいも経済成長も

5

ジェンダー平等を実現しよう

6

安全な水とトイレを世界中に

7

エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8

働きがいも経済成長も

9

産業と技術革新の基盤をつくろう

10

公平な社会と持続可能な開発

11

住み続けられるまちづくりを

12

つくる責任つかう責任

13

気候変動に具体的な対策を

14

海の豊かさを守ろう

15

陸の豊かさを守ろう

16

平和と公正をすべての人に

17

パートナーシップで目標を達成しよう

18

持続可能な開発目標

江戸川区は、「ともに生きるまち」を目指してSDGsに取り組んでいます。

《SDGsに基づく主な新規・拡充事業》

<div>3</div> <div>すべての人に健康と福祉を</div>	<div>すべての人に健康と福祉を</div> <div>新庁舎を見据えた福祉総合窓口の実施(新) 9,763万5千円 区立小・中学校歯科指導事業(フッ化物洗口)(拡) 549万8千円 子育ておむつ定期便(拡) 3億7,763万1千円</div>	<div>11</div> <div>住み続けられるまちづくりを</div> <div>住み続けられる まちづくりを ごみ屋敷対策への支援体制と庁内ネットワークの構築(新) 275万2千円 災害時防災用カメラ及び自営通信網システム構築事業(拡) 46億4,562万6千円 住宅の耐震化の促進(拡) 2億4,266万円</div>
<div>4</div> <div>質の高い教育をみんなに</div>	<div>質の高い教育を みんなに</div> <div>共生社会の実現に向けた英語教育改革について ～自分の考えを英語で伝えられる中学生の育成～(新) 1億3,773万1千円 区立小・中学校における区独自の学力調査の実施(新) 2,988万5千円 病児・病後児保育施設の増設と送迎対応の実施(拡) 3,336万4千円</div>	<div>12</div> <div>つくる責任 つかう責任</div> <div>つくる責任 つかう責任 イベントでのリユース食器の導入(新) 177万4千円 製品プラスチック分別回収に向けた対応(拡) 656万円</div>
<div>7</div> <div>エネルギーをみんなにそしてクリーンに</div>	<div>エネルギーをみんなに そしてクリーンに</div> <div>気候変動に備え、脱炭素を目指す補助金事業(拡) 9,123万7千円</div>	<div>15</div> <div>陸の豊かさを守ろう</div> <div>陸の豊かさを守ろう 農地買取による農地保全(新) 679万9千円 公園整備(拡) 19億7,324万円</div>
<div>8</div> <div>働きがいも経済成長も</div>	<div>働きがいも 経済成長も</div> <div>経営支援資金特別融資(新) 2億5,699万円 金魚の魅力発信強化(拡) 907万円</div>	<div>16</div> <div>平和と公正をすべての人に</div> <div>平和と公正をすべての人に 住民票・戸籍証明書等の郵送請求における電子申請の導入(新) 2,201万4千円 旧文書庫建物補修設計(新) 919万5千円 マッチングアプリ利用支援(新) 351万円</div>
<div>9</div> <div>産業と技術革新の基盤をつくろう</div>	<div>産業と技術革新の基盤をつくろう</div> <div>データ利活用の推進(拡) 297万円</div>	<div>17</div> <div>パートナーシップで目標を達成しよう</div> <div>パートナーシップで目標を達成しよう キャラクターを活用したSDGs行動促進事業(新) 375万円</div>

総務委員会 主な議案審査内容

○令和5年度江戸川区一般会計補正予算(第11号)

・物価高騰対策省エネ設備等投資支援事業について

委員より、物価高騰対策省エネ設備等投資支援事業の概要について質問があり、執行部より、本事業は区内事業者に対し、省エネルギー性能の高い設備への更新等に要する経費の一部を区が補助することで、光熱費の削減等、経営改善を実現し脱炭素への転換を促進する。補助金の対象は、LED照明等の省エネ設備への更新のほか、エネルギー利用最適化支援サービスや太陽光発電システムの設置とし、合計金額の3分の2に相当する額で、上限200万円を補助するとの答弁があった。

これに対し、委員より、地元の金融機関と連携し周知すること、区のあっせん融資制度と合わせて本事業を利用しやすくすること。事業者は補助金に係る十分な情報を提供することが要望された。

○江戸川区民健康施設条例の一部を改正する条例

・塩尻江戸川荘温浴棟の開業について

委員より、日帰り入浴の利用料金について質問があり、執行部より、持続可能な施設運営の視点に加えて民業圧迫とならないよう周辺の温浴施設に配慮し、区民の上限額を1,080円と定め、今後は平日の利用料金を区民880円、区外利用者1,280円、また友好都市である南魚沼市の市民1,080円にそれぞれ設定予定であるとの答弁があった。

これに対し、委員より、南魚沼市の方々にもこの温浴施設を広く利用していただくため、実際の利用料金の設定の際にはより区民料金に近づけることが望まれた。

令和6年第1回臨時会開催予定

5月24日(金)…… 本会議

令和6年第2回定例会開催予定

6月12日(水)…… 本会議(議案上程、委員会付託)

17日(月)…… 本会議(一般質問)

19日(水)…… 本会議(一般質問)

20日(木)…… 常任委員会(議案審査)

21日(金)…… 各常任委員会(請願・陳情等の審査)

28日(金)…… 本会議(委員会報告及び表決)

※本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。
詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

区議会広報委員会 (◎委員長 ○副委員長)

◎高 木 ひでたか ○関 根 まみ子
小 林 あすか 小 俣 のり子 笹 本 ひさし